



日本美容皮膚科学会  
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第43回 日本美容皮膚科学会総会・学術大会

The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society of Aesthetic Dermatology

モーニングセミナー3

日時

2025. **8/17** [SUN] 8:00 - 9:00

会場

**C会場** (大阪国際会議場 10F 会議室 1001・1002)

# 酒皰診療の新時代

～基礎知識と漢方治療による  
包括的アプローチ～

座長

順天堂大学医学部附属浦安病院 皮膚科学 教授 **須賀 康** 先生

演題

1

酒皰診療の基本の基

演者

ALOOP CLINIC & LAB 院長 **山崎 研志** 先生

演題

2

酒皰における漢方治療の可能性

演者

ほう皮フ科クリニック 院長 **許 郁江** 先生

共催：第43回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / クラシエ 薬品株式会社

演題  
1

## 酒皸診療の基本の基

演者 ALOOP CLINIC & LAB 院長 **山崎 研志** 先生



酒皸は顔面中央部の赤みや炎症性皮疹を特徴とし、その診断や治療に当たっては、鑑別や併存疾患の見極めが重要である。多種多様な皮膚所見を日々診察する皮膚科診療において酒皸を見逃さずに適切に診断から治療に誘導するためには、日本人酒皸の疫学や背景を理解することが助けになる。酒皸の治療は主たる症候・病型に併せて選択する。薬物治療だけでなく、増悪因子の確認と回避、肌質に合わせたスキンケアの指導も酒皸を寛解に導くために重要な要素である。本講演では、日本人酒皸の疫学や併存症、日本人酒皸の増悪因子やその対処方法、症候にあわせた薬物療法やスキンケアの基本を概説する。また、日本特有処方としての漢方の可能性についても議論したい。

ご略歴

- |       |                       |       |                             |
|-------|-----------------------|-------|-----------------------------|
| 1992年 | 大阪大学医学部卒、同附属病院皮膚科形成外科 | 2003年 | カルフォルニア大学サンディエゴ校医学部皮膚科      |
| 1993年 | 大阪府立母子保健総合医療センター      | 2010年 | 東北大学大学院医学系研究科皮膚科学 准教授       |
| 1995年 | 大阪府立千里救命救急センター        | 2021年 | 東北大学病院 特命教授・皮膚科診療科長         |
| 1996年 | 千葉大学医学部附属病院皮膚科        | 2022年 | 医療法人廣仁会 りふ皮膚科アレルギー科クリニック 院長 |
| 1997年 | 愛媛大学医学部皮膚科学 助手        | 2023年 | ALOOP CLINIC & LAB 院長       |

演題  
2

## 酒皸における漢方治療の可能性

演者 ほう皮フ科クリニック 院長 **許 郁江** 先生



酒皸は赤ら顔とも呼ばれ、顔面中央部（鼻・頬・眉間など）を中心に、潮紅、持続性紅斑、毛細血管拡張、痤瘡様皮疹（丘疹、膿疱）が出現し、自覚症状として灼熱感・ほてり感を伴うこともある原因不明の慢性炎症性疾患である。

治療においては、2023年11月に0.75%メトロナゾール軟膏が保険適用となったが、ガイドライン上では第2度（丘疹膿胞型酒皸）のみに推奨されており、第1度酒皸（紅斑毛細血管拡張型酒皸）には推奨されていないのが現状である。レーザー治療など保険適用外の選択肢はあるが、

当院では、酒皸の中でも患者数が最も多く、メトロナゾール軟膏だけでは早期の改善が難しい自覚症状であるほてりに保険適用のある漢方薬を加えることで、ほてり・赤味を早期から改善し、患者さんの満足度を上げ、QOL改善に寄与する試みを行っており、結果報告とともに、漢方治療の可能性について考えてみたい。

ご略歴

- |       |                                             |        |                                                   |
|-------|---------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------|
| 1995年 | 韓国ソウル大学校医学部卒業                               | 2000年～ | 米国ハーバード大学医学部皮膚科に                                  |
| 1997年 | 岡山大学大学院医学部皮膚科入局                             | 2001年  | research fellowとして留学                              |
|       | 岡山大学医学部附属病院皮膚科勤務                            |        | International Training Program for Dermatology 修了 |
|       | 荒田次郎教授に師事、皮膚感染症について学ぶ                       | 2002年  | 特定医療法人里仁会 興生総合病院 皮膚科勤務（皮膚科医長）                     |
| 1999年 | 岡山大学大学院医学研究科入学                              | 2003年  | 岡山大学大学院医学研究科修了                                    |
|       | 皮膚の天然の抗菌物質であるhuman $\beta$ -defensin2について研究 | 2007年  | ほう皮フ科クリニック開設（岡山県倉敷市）                              |